



Nissan Chemical
CORPORATION

未来のための、はじめてをつくる。

2026年3月期 第1四半期 決算説明会

説明者 大門秀樹(取締役副社長CFO)

2025年8月8日



Contents

01	2025年度第1四半期 連結決算報告	P3
02	セグメント概況	P11
03	ESGトピックス	P31
04	参考資料	P36

Contents

01	2025年度第1四半期 連結決算報告	P3
02	セグメント概況	P11
03	ESGトピックス	P31
04	参考資料	P36

1Q

前年同期比

- 売上高は112億円増収(+19%)
- 営業利益は37億円増益(+25%)
- 純利益は23億円増益(+20%)
- 売上高、営業利益、純利益は過去最高を更新

1Q

業績予想比

(2025年5月発表予想との比較)

- 売上高は49億円上ぶれ
- 営業利益は10億円上ぶれ
- 純利益は17億円上ぶれ

2025年度 業績予想

- 上期および通期の業績予想は、2025年5月発表より修正なし
(各セグメントの業績予想も同様に修正なし)

株主還元

- 自己株式取得は、合計105億円を予定(2025年5月発表済み)
2025年4月に15億円取得終了、
2025年5月～2026年3月に90億円取得予定

2025年度1Q決算サマリー 前年同期比

(億円)

	2024年度 1Q実績	2025年度 1Q実績	前年同期比
売上高	587	699	+112 (+19%)
営業利益	144	181	+37 (+25%)
営業外損益	16	0	-16
為替差損益	13	-7	-20
経常利益	160	181	+21 (+13%)
特別損益	0	0	0
純利益※1	116	139	+23 (+20%)
EBITDA※2	180	214	+34
EPS(円/株)	83.78	102.20	+18.42
売上高営業利益率	24.6%	25.9%	+1.3pt
為替レート(円/ドル)	156	145	-

※1 純利益は、親会社株主に帰属する純利益を指す ※2 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

2025年度1Q決算サマリー 業績予想比

(億円)

	2025年度 1Q予想	2025年度 1Q実績	業績予想比
売上高	650	699	+49 (+7%)
営業利益	171	181	+10 (+6%)
営業外損益	-6	0	+6
為替差損益	-14	-7	+7
経常利益	165	181	+16 (+10%)
特別損益	0	0	0
純利益※1	122	139	+17 (+14%)
EBITDA※2	-	214	-
EPS(円/株)	-	102.20	-
売上高営業利益率	26.3%	25.9%	-0.4pt
為替レート(円/ドル)	145	145	-

※1 純利益は、親会社株主に帰属する純利益を指す ※2 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

		2025年度 実績	2024年度 実績	前年同期比	業績予想	業績予想比
		181 億円	144 億円	+37 億円(+25%)	171 億円	+10 億円(+6%)
1Q	化学品	前年同期比	0億円	ファインオキシコール・環境化学品増収も、固定費等※1増加により利益横ばい		
		業績予想比	1億円下ぶれ	ファインケミカル上ぶれも基礎化学品下ぶれにより利益若干下ぶれ		
	機能性材料	前年同期比	+11億円	ディスプレイ・半導体・無機増収により増益		
		業績予想比	1億円下ぶれ	半導体上ぶれも、固定費等上ぶれ(減益要因)により利益若干下ぶれ		
	農業化学品	前年同期比	+16億円	フルララネル・ライメイ・アルテア等増収により増益		
		業績予想比	10億円上ぶれ	ライメイ・アルテア・グレーシア等上ぶれにより利益上ぶれ		
	ヘルスケア	前年同期比	-1億円	リバロ増収も、固定費等増加により若干減益		
		業績予想比	1億円上ぶれ	ファインテック上ぶれにより利益若干上ぶれ		

※1 固定費等には在庫変動影響を含む

営業外損益・特別損益の内訳

(億円)

	2024年度 1Q実績	2025年度 1Q実績	前年同期比	2025年度 1Q予想
受取利息・配当金	2.9	6.4	+3.5	6.4
持分法投資損益	1.3	2.3	+1.0	3.3
為替差損益※1	12.7	-6.7	-19.4	-14.0
支払利息	-1.8	-1.4	+0.4	-2.0
固定資産処分損他	0.9	-0.2	-1.1	0.2
営業外損益	16.0	0.4	-15.6	-6.1
特別利益	0.0	0.0	0.0	0.0
特別損失	0.0	0.0	0.0	0.0
特別損益	0.0	0.0	0.0	0.0

※1 為替レート(円/ドル): 24/3末 151.40、24/6末 161.14、25/3末 149.53、25/6末 144.82

2025年度1Q実績のフリー・キャッシュ・フローは130億円となり、前年同期比5億円の増加

(億円)

	2024年度 1Q実績	2025年度 1Q実績	前年同期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	153	163	+10
税金等調整前純利益	160	181	+21
特別損益(マイナスは益)	0	0	0
減価償却費※1	36	33	-3
法人税等の支払	-47	-89	-42
運転資金増減他	4	38	+34
投資活動によるキャッシュ・フロー	-28	-33	-5
設備投資※2	-32	-47	-15
投資有価証券購入・売却	-1	0	+1
その他	5	14	+9
フリー・キャッシュ・フロー	125	130	+5
財務活動によるキャッシュ・フロー	-17	-77	-60
株主還元(配当)	-130	-142	-12
株主還元(自己株式取得)	-41	-29	+12
有利子負債増減	164	95	-69
その他	-10	-1	+9
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	7	+6
現金及び現金同等物の増減額	110	61	-49
現金及び現金同等物の残高	338	335	-3

※1 のれん償却費を含む ※2 無形資産を含む

貸借対照表

(億円)

	2024年6月末	2025年3月末	2025年6月末	前期末比
流動資産	2,122	2,104	2,115	+11
現預金	338	275	335	+60
売上債権	858	891	905	+14
たな卸資産	833	801	784	-17
その他	93	137	91	-46
固定資産	1,236	1,204	1,230	+26
有形固定資産	788	724	738	+14
無形固定資産	108	135	131	-4
投資有価証券	265	244	260	+16
その他	75	101	101	0
資産合計	3,358	3,308	3,345	+37

	2024年6月末	2025年3月末	2025年6月末	前期末比
負債	1,087	946	989	+43
買入債務	198	199	195	-4
借入金、社債、CP	474	405	498	+93
その他	415	342	296	-46
純資産	2,271	2,362	2,356	-6
株主資本※1	2,085	2,229	2,198	-31
その他有価証券評価差額金	85	70	81	+11
為替換算調整勘定	54	18	28	+10
非支配株主持分	37	29	34	+5
退職給付に係る調整累計額	10	16	15	-1
負債純資産合計	3,358	3,308	3,345	+37

自己資本比率	66.5%	70.5%	69.4%
ネットD/Eレシオ※2	0.07倍	0.06倍	0.07倍

投資有価証券(固定資産)の内訳

	2024年6月末	2025年3月末	2025年6月末	前期末比
上場株式※3 (単体ベース保有銘柄数)	175 (24)	156 (24)	172 (24)	+16 (0)
非上場株式	23	22	22	0
関係会社株式	67	65	66	+1
合計	265	243	260	+17

純資産に占める 政策保有株式の割合※4	7.9%	6.9%	7.4%
------------------------	------	------	------

参考

2018年3月末
300
(55)
17
68
385
17.0%

※1 株主資本増減 -31 = 純利益139 - 配当その他170 ※2 ネットD/Eレシオ = (借入金、社債、CP - 現金預金) / 株主資本

※3 25/3末 156 + 取得0 + 評価差額16 = 25/6末 172 ※4 政策保有株式割合 = 政策保有株式(単体ベース、上場株 + 非上場株) / 純資産(連結ベース)

Contents

01

2025年度第1四半期 連結決算報告 P3

02

セグメント概況 P11

03

ESGトピックス P31

04

参考資料 P36

セグメント別 2025年度1Q決算 前年同期比

(億円)

		2024年度 1Q実績	2025年度 1Q実績	前年同期比
化学品	売上高	89	93	+4 (+5%)
	営業利益	7	7	0 (+4%)
機能性材料	売上高	235	259	+24 (+10%)
	営業利益	71	82	+11 (+15%)
農業化学品	売上高	204	266	+62 (+31%)
	営業利益	70	86	+16 (+24%)
ヘルスケア	売上高	15	16	+1 (+7%)
	営業利益	6	5	-1 (-20%)
卸売・その他・調整額	売上高	44	65	+21
	営業利益	-10	1	+11
合計	売上高	587	699	+112 (+19%)
	営業利益	144	181	+37 (+25%)

※ セグメント間の内部売上高又は振替高を含む

※ 卸売：日星産業、その他：日産物流・日産緑化・日産エンジニアリング・NC東京ベイ・日本ポリテック（2024年度より連結子会社化）・日本肥糧ほか、
調整額：企画本部ほか（内訳はp37,p38参照）

※ 2024年度1Q実績はセグメント区分変更後の数値に置き換え済み（p39参照）

セグメント別 2025年度1Q決算 業績予想比

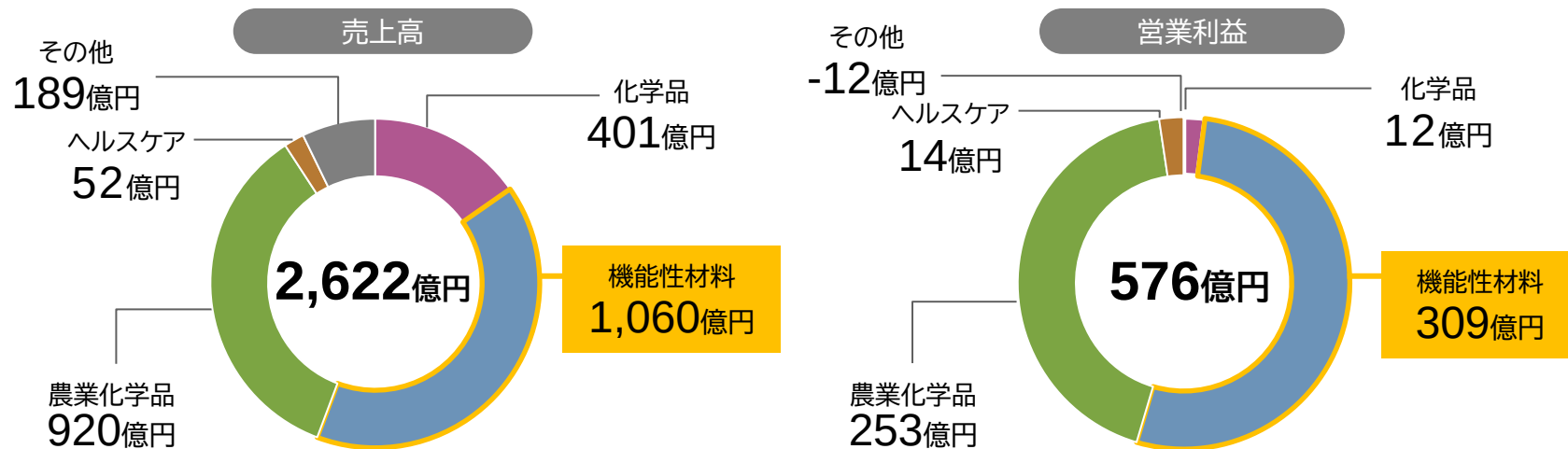
(億円)

		2025年度 1Q予想	2025年度 1Q実績	業績予想比
化学品	売上高	94	93	-1 (-1%)
	営業利益	8	7	-1 (-11%)
機能性材料	売上高	257	259	+2 (+1%)
	営業利益	83	82	-1 (-1%)
農業化学品	売上高	232	266	+34 (+15%)
	営業利益	76	86	+10 (+14%)
ヘルスケア	売上高	15	16	+1 (+5%)
	営業利益	4	5	+1 (+24%)
卸売・その他・調整額	売上高	52	65	+13
	営業利益	0	1	+1
合計	売上高	650	699	+49 (+7%)
	営業利益	171	181	+10 (+6%)

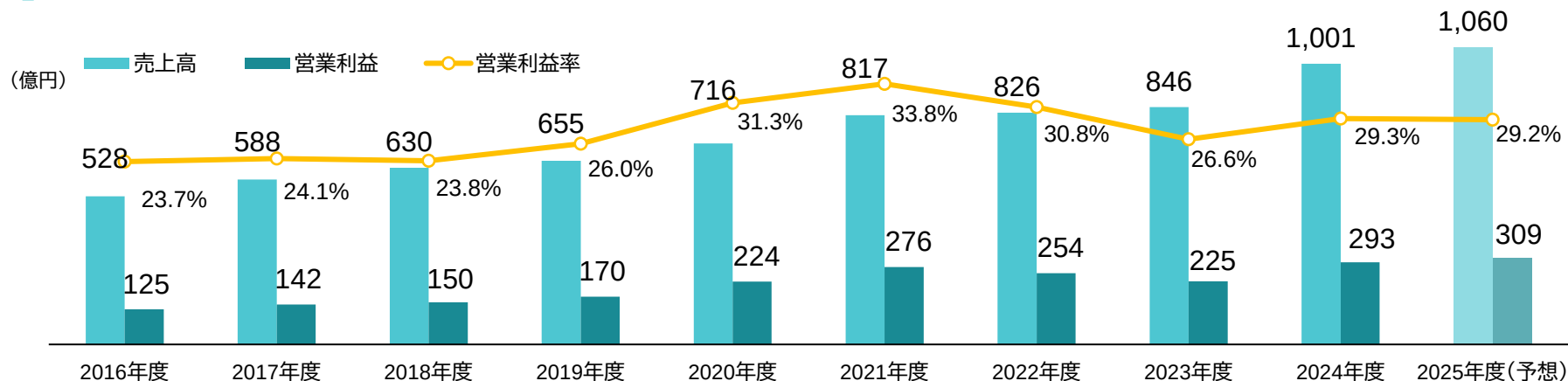
※ セグメント間の内部売上高又は振替高を含む

※ 卸売：日星産業、その他：日産物流・日産緑化・日産エンジニアリング・NC東京ベイ・日本ポリテック(2024年度より連結子会社化)・日本肥糧ほか、
調整額：企画本部ほか(内訳はp37,p38参照)

2025年度セグメント別業績予想※1



機能性材料セグメント業績推移※1・2

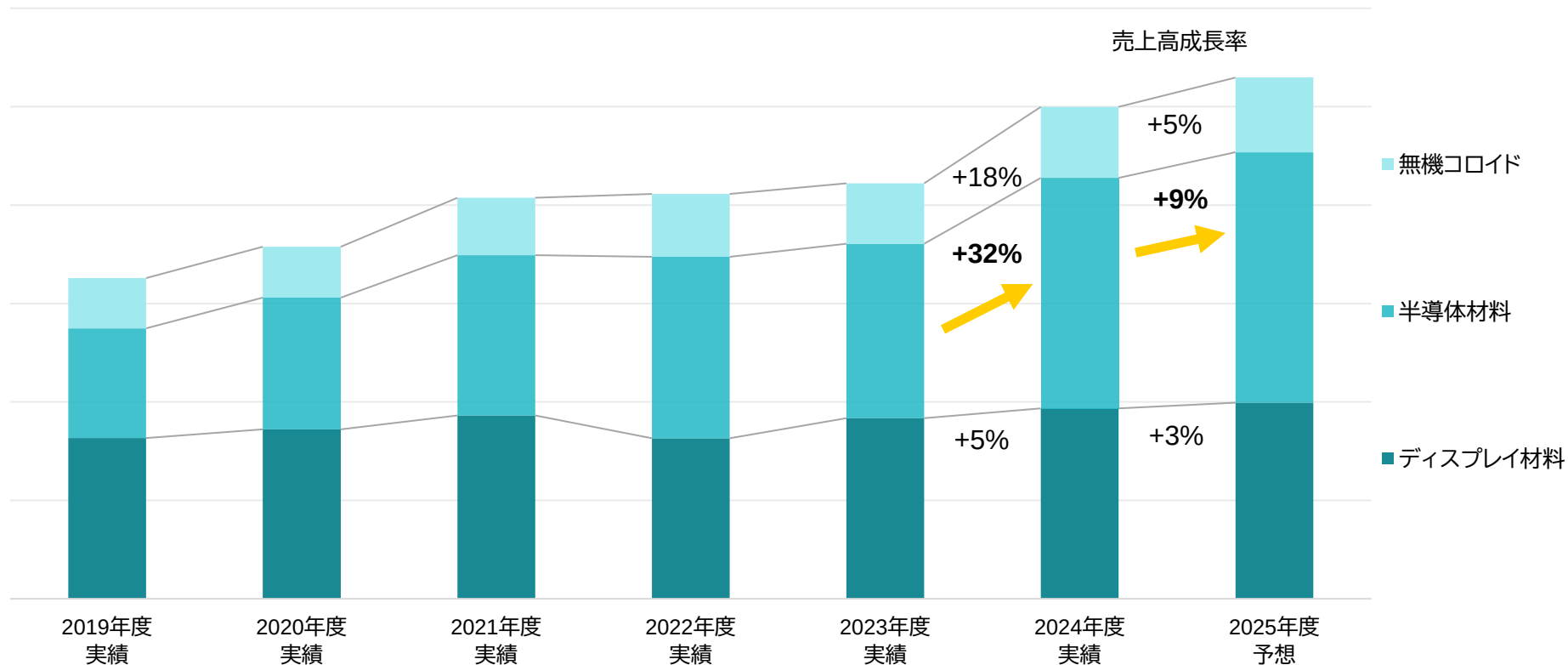


※1 2025年度より新方式セグメント別営業利益。2024年度実績はセグメント区分変更後の数値に置き換え済み(p39参照)

※2 2022年4月に組織改定(ヘルスケアおよび企画本部)を実施。2020年度以前は組織改定前、2021年度以降は改定後ベース

- ディ스플레이材料は、2022年度を底として回復。キャッシュカウとして安定的な売上高を維持
- 半導体材料は、2024年度は一時的な調整局面にあったが、市場の回復に伴い、2024年度は高い成長率を実現
EUV材料は顧客生産増により伸長し、中長期での成長トレンドは不変
- サブセグメント売上高構成では、成長ドライバーである半導体材料が、ディスプレイ材料を上回る
- 2025年度は、半導体材料を中心に全てのサブセグメントにて、前年比増収を見込む

機能性材料サブセグメント売上高推移



- ディ스플레이材料は、1Qで前年同期比8%増収、業績予想比では下ぶれ
- 半導体材料は、1Qで前年同期比14%増収、業績予想比でも上ぶれ
- 無機コロイドは、1Qで前年同期比4%増収、業績予想比では下ぶれ

主要製品	2025年度 1Q実績	
	前年同期比	業績予想比
ディスプレイ材料合計	+8%	下ぶれ
半導体材料合計	+14%	上ぶれ
ARC®	+8%	上ぶれ
多層材料	+22%	上ぶれ
EUV材料※1	+20%	上ぶれ
無機コロイド合計	+4%	下ぶれ
機能性材料セグメント合計	+10%	上ぶれ

※1 EUV材料：EUV向け下層膜とSi-HMの合計

(億円)

	2024年度 1Q実績	2025年度 1Q実績	前年同期比
売上高	235	259	+24
営業利益	71	82	+11

固定費等【1Q】増加4億円

【1Q】増収・増益

ディスプレイ

光IPS

増収

(大型モニター、ノートPC向け増収)

ラビングIPS

減収

VA

減収

【1Q】増収・増益

先端世代を中心に増収、顧客稼働増

ARC®

増収

多層材料

増収

EUV材料

増収

三次元実装材料

増収

固定費等増加3億円

半導体

【1Q】増収・増益

スノーテックス(一般用途・研磨剤)増収

無機
コロイド

※ 2024年度1Q実績はセグメント区分変更後の数値に置き換え済み(p39参照)

	(億円)		
	2025年度 1Q予想	2025年度 1Q実績	業績予想比
売上高	257	259	+2
営業利益	83	82	-1

固定費等【1Q】上ぶれ2億円(減益要因)

【1Q】売上高・営業利益若干下ぶれ

ディスプレイ

光IPS	売上高上ぶれ (大型モニター向け上ぶれ)
ラビングIPS	売上高上ぶれ
VA	売上高下ぶれ

【1Q】売上高上ぶれ・営業利益若干下ぶれ

先端世代を中心に売上高上ぶれ、顧客稼働増
一部顧客にて在庫積み増しあり

半導体

ARC®	売上高上ぶれ
多層材料	売上高上ぶれ
EUV材料	売上高上ぶれ
三次元実装材料	売上高下ぶれ

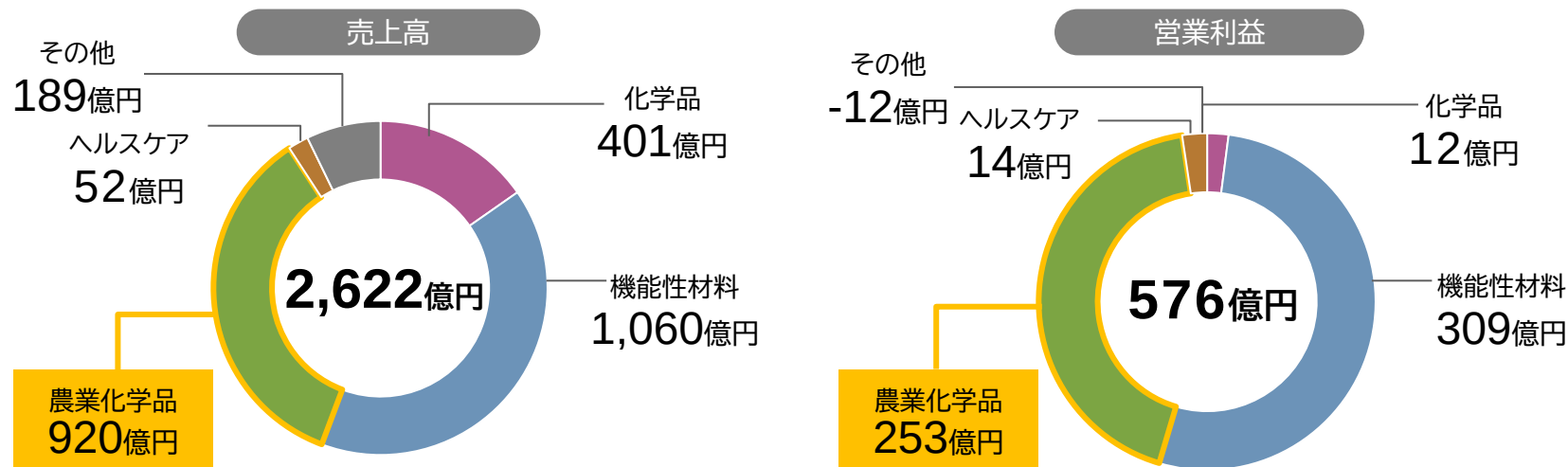
固定費等上ぶれ3億円(減益要因)

【1Q】売上高下ぶれ・営業利益上ぶれ

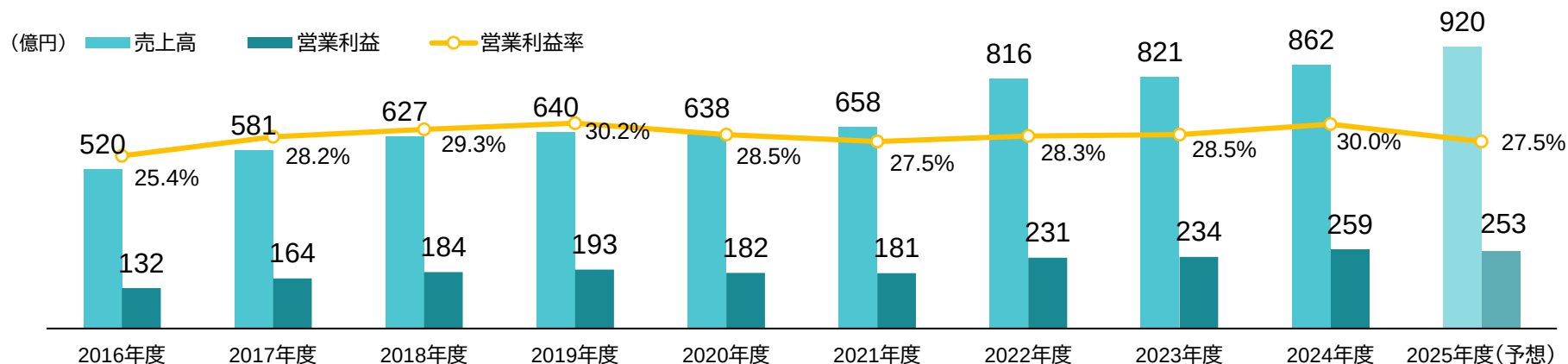
オルガノ・モノマーゾル、オイル&ガス材料売上高下ぶれ
固定費等下ぶれ1億円(増益要因)

無機
クロイド

2025年度セグメント別業績予想※1



農業化学品セグメント業績推移※1・2



※1 2025年度より新方式セグメント別営業利益。2024年度実績はセグメント区分変更後の数値に置き換え済み(p39参照)

※2 2022年4月に組織改定(ヘルスケアおよび企画本部)を実施。2020年度以前は組織改定前、2021年度以降は改定後ベース

■ 1Qで前年同期比31%増収、業績予想比でも上ぶれ

主要製品名 (農薬・2024年度売上高順)		種類	2025年度 1Q実績	
			前年同期比	業績予想比
農薬	ラウンドアップ※1	除草剤	-4%	下ぶれ
	アルテア	除草剤	+59%	上ぶれ
	グレーシア	殺虫剤	+3%	上ぶれ
	ライメイ	殺菌剤	+138%	上ぶれ
	タルガ	除草剤	+53%	上ぶれ
	パーミット	除草剤	+24%	上ぶれ
	ダイセン	殺菌剤	+42%	上ぶれ
	ベルダー※2	除草剤	-	予想通り
動物薬	フルララネル	動物薬	+31%	予想通り
セグメント合計※3		-	+31%	上ぶれ

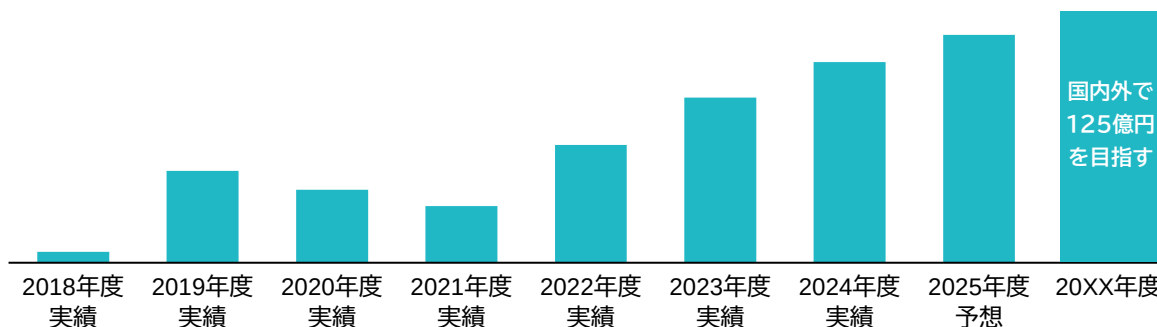
※1 ラウンドアップALは、2025年度1Q実績のラウンドアップ売上高全体の33%を占める

※2 ベルダーは、2024年度4Qに上市

※3 セグメント合計は値引きを含む

■ グレーシア売上高

- 当初のピーク時売上高目標100億円を2024年度に達成
- 2025年5月発表にて125億円へ上方修正



参考

[ラウンドアップの現状説明会資料](#) 

(2020年1月22日発表)

[農業化学品事業説明会資料](#) 

(2022年9月28日発表)

(億円)

	2024年度 1Q実績	2025年度 1Q実績	前年同期比
売上高	204	266	+62
営業利益	70	86	+16

固定費等 【1Q】増加13億円(主として在庫変動影響)

【1Q】増収・増益

ラウンドアップ 減収(ML、AL:天候不良により出荷減少)

アルテア 増収(国内:コメ価格高騰に伴う需要増)

ライメイ 増収(輸出:欧州での需要増)

タルガ 増収(輸出:欧州での需要増)

フルララネル 増収(原薬:24年度から一部出荷後ろ倒しにより増収、ロイヤリティ:減収)

※ 2024年度1Q実績はセグメント区分変更後の数値に置き換え済み(p39参照)

(億円)

	2025年度 1Q予想	2025年度 1Q実績	業績予想比
売上高	232	266	+34
営業利益	76	86	+10

【1Q】売上高・営業利益上ぶれ

ラウンドアップ	下ぶれ(ML、AL:天候不良により出荷減少)
アルテア	上ぶれ(国内:コメ価格高騰に伴う需要増)
グレーシア	上ぶれ(輸出:24年度から一部出荷後ろ倒し)
ライメイ	上ぶれ(輸出:欧州での需要増)
タルガ	上ぶれ(輸出:欧州での需要増)
フルララネル	予想通り(原薬、ロイヤリティ:予想通り)

	上市年度	製品名	分類	開発経緯	備考
既存製品	2002	ラウンドアップ	除草剤	買収	米国モンサント社より国内事業を買収、継続成長中
	2008	ライメイ	殺菌剤	自社開発	
	2008	スターマイト	殺虫剤	自社開発	
	2009	パルサー(チフルザミド)	殺菌剤	買収	米国ダウ社より世界事業を買収
	2010	ラウンドアップマックスロードAL	除草剤	自社開発	一般家庭向け希釈済みシャワータイプ除草剤。2016年AIⅡ、2017年AIⅢ上市
	2011	アルテア	除草剤	自社開発	2011年韓国で上市、2012年日本で上市
	2013	フルララネル	動物用医薬品原薬	自社開発	米国MAH社※1向けにブラベクト®原薬として出荷開始
	2014	ブラベクト®※2	ペット動物用医薬品	-	2014年4月欧州、6月米国、15年7月日本で上市
	2017	トランスフォーム™/エクシード™ /ビレスコ™	殺虫剤	導入	米国ダウ社より導入
新製品・パイプライン	2018	グレーシア	殺虫剤	自社開発	広範囲の重要害虫に有効、ミツバチへの影響が少ない。 2018年韓国、2019年日本、2021年インド・インドネシアで上市以降、順次販売国拡大中(ピーク時売上高目標125億円)
	2019	クインテック(キノキシフェン)	殺菌剤	買収	2019年11月米国コルテバ社より世界事業を買収。果樹野菜のうどんこ病(カビの1種)の発病予防に非常に効果的
	2020	ダイセン(マンゼブ)	殺菌剤	買収	2020年12月米国コルテバ社より日本・韓国事業を買収。果樹野菜用の保護除菌剤、耐雨性に優れる
	2024	ベルダー(ジメスルファゼット) (NC-653)	除草剤	自社開発	イネへの優れた安全性があり、抵抗性ホタルイや難防除雑草クログワイに高い効果を持つ(ピーク時売上目標60億円)
	2027	未定(NC-520)	殺虫剤	共同開発	他社との共同開発の新規水稻用殺虫剤。ウンカ類への効果が高い(混合剤も含めピーク時売上目標25億円)
	2027	未定(イプトリアゾピリド) (NC-656)	除草剤	自社開発	抵抗性イネ科雑草(ヒエ・アゼガヤ)に優れた効果を持つ。当社初の水稻用茎葉除草剤(ピーク時売上高目標100億円)

新製品群の
ピーク時売上高
目標合計

360億円

※1 MAH社:米国メルク社のアニマルヘルス事業部門、MSD Animal Health 社の略称 ※2 ブラベクト®:MAH社の販売製品名

- 当社が発明した化合物「フルララネル」を有効成分とするブラベクト®シリーズ・エグゾルト®は現在100か国以上で販売中
- ブラベクト®最大の特徴は12週間にわたる効果持続性(競合製品は1か月程度)
- MAH※1社とのフルララネルの長期供給契約を延長、新規動物用医薬品創出へ向けた共同研究開発を開始(2025年4月11日ニュースリリース)

1. フルララネル(有効成分)

2. ブラベクト® 外部寄生虫薬 (犬・猫用)

3. ブラベクト® 内外部寄生虫薬 (犬・猫用)

4. エグゾルト® (鶏・牛・羊用)



1. フルララネル(Fluralaner)

- ブラベクト®・エグゾルト®の有効成分。当社がMAH社に供給
- これまでのペット用外部寄生虫薬とは異なる新たな作用機序を有している
- 化合物特許
 - 2025年3月に終了するが、多数の国で延長制度あり
 - UK、ドイツ、フランス等一部欧州諸国では、2029年2月まで延長済み、米国は2027年6月まで延長済み

2. ブラベクト® (BRAVECTO®) 外部寄生虫薬

- MAH社が開発したペット用外部寄生虫薬。犬・猫のノミ、マダニの主要種に対し即効性に優れる
- 通常1か月毎に投薬する既存製品より殺虫効果の持続性が長く、12週間※2にわたって持続する
- 犬向けチュアブルタブレット(経口投与製剤)
 - 2014年4月欧州、以降米国、日本等上市
 - 2020年7月1か月剤(子犬向け)米国上市
- 犬、猫向けスポットオン製品(経皮投与製剤)
 - 2016年7月欧州、以降米国、日本等上市
- 犬向け注射剤 (BRAVECTO® Quantum)
 - 12か月※3の効果持続性
 - 2024年6月豪州、以降欧州等上市
 - 2025年7月米国にて承認

3. ブラベクト® (BRAVECTO®) 内外部寄生虫薬

- BRAVECTO® Plus
 - 猫向けスポットオン合剤
 - 2018年7月欧州、以降米国、日本等上市
- BRAVECTO® TriUNO
 - 犬向けチュアブルタブレット(3種合剤)
 - 1か月の効果持続性
 - 2024年10月欧州、中南米にて承認

4. エグゾルト® (EXZOLT®)

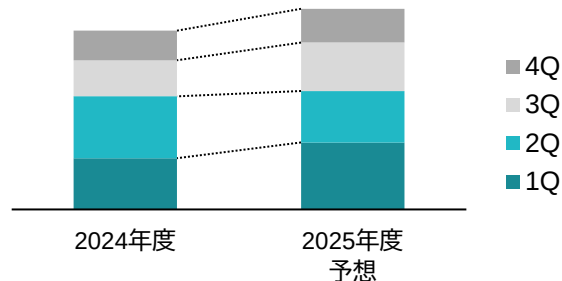
- 鶏向けワクモ駆除剤(飲水投与)
 - 2017年欧州、以降韓国、中東、日本等上市
- 牛向け 2022年ブラジル、以降メキシコ上市
- 羊向け 2023年豪州、NZ上市

当社のフルララネル売上高の構成

MAH※1社へのフルララネル販売 + MAH社からのランニングロイヤリティ(RR)

2024～2025年度 四半期別売上高推移

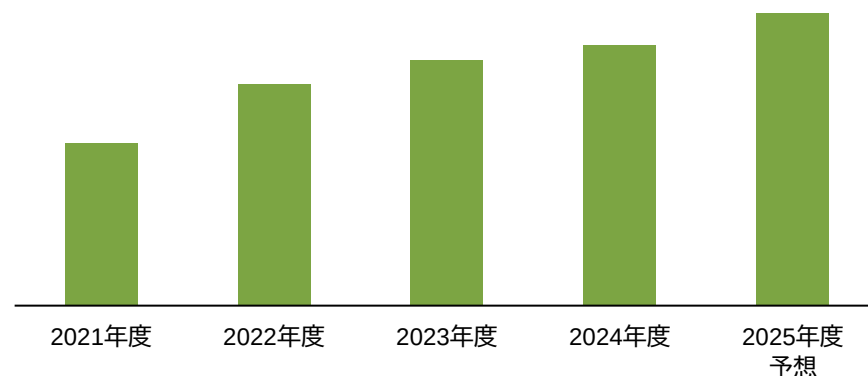
(RR収入含む)



MAH社のブラベクト・エグゾルト販売トレンドにより、当社のフルララネル売上高は上期が厚くなる傾向にある

2021～2025年度 売上高推移

(RR収入含む)

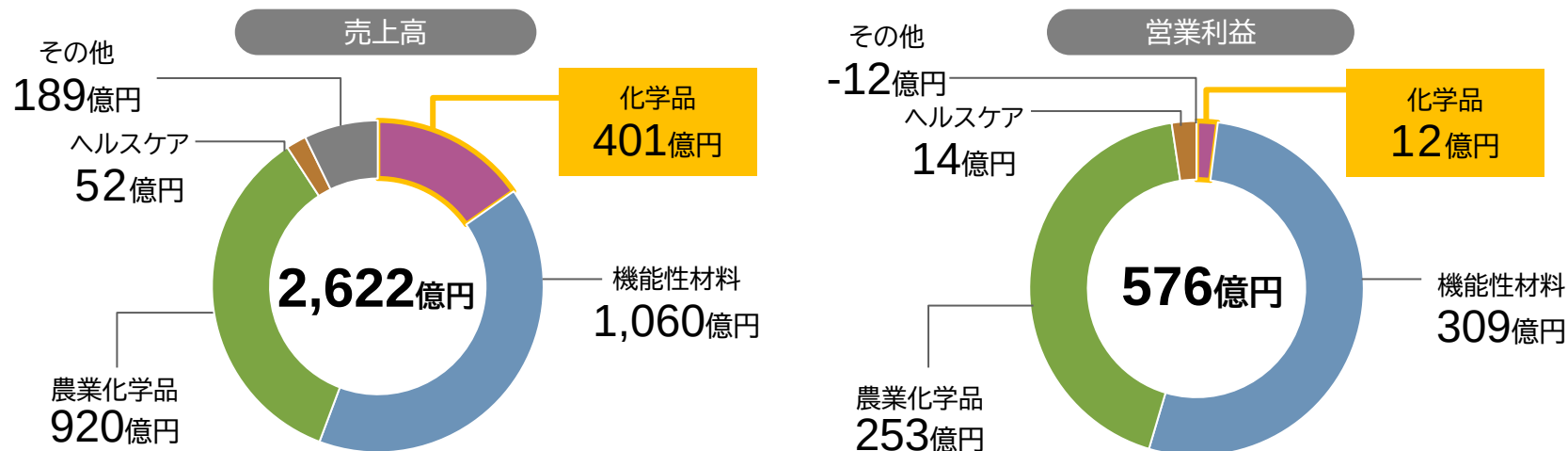


- ・2022年度は、2021年度からの出荷後ろ倒しと円安影響により大幅増収。実績為替レートは136円/ドル
- ・2023年度の実績為替レートは145円/ドル
- ・2024年度の実績為替レートは153円/ドル
- ・2025年度は、2024年度からの出荷後ろ倒しにより大幅増収。想定為替レートは145円/ドル

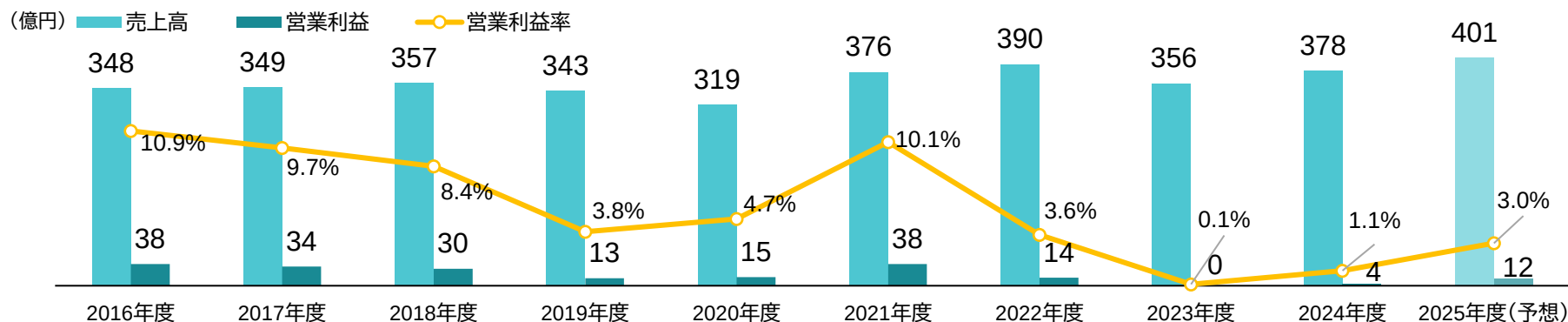
ブラベクト®の拡大に向けたMAH社の開発状況

フルララネルを有効成分とするペット向けの新たな内外部寄生虫薬や、既存製品の登録国数の拡大に向けMAH社が開発中

2025年度セグメント別業績予想※1



化学品セグメント業績推移※1・2



※1 2025年度より新方式セグメント別営業利益。2024年度実績はセグメント区分変更後の数値に置き換え済み(p39参照)

※2 2022年4月に組織改定(ヘルスケアおよび企画本部)を実施。2020年度以前は組織改定前、2021年度以降は改定後ベース

前年同期比

(億円)

	2024年度 1Q実績	2025年度 1Q実績	前年同期比
売上高	89	93	+4
ファインケミカル	31	34	+3
基礎化学品	58	59	+1
営業利益	7	7	0

固定費等 【1Q】増加1億円

※ 2024年度1Q実績はセグメント区分変更後の数値に置き換え済み(p39参照)

【1Q】増収・営業利益横ばい

ファインケミカルは、ファインオキシコールと環境化学品で増収

基礎化学品は、高純度硫酸(半導体需要増)や尿素・アドブルー®で増収も、固定費等の増加により、減益

業績予想比

(億円)

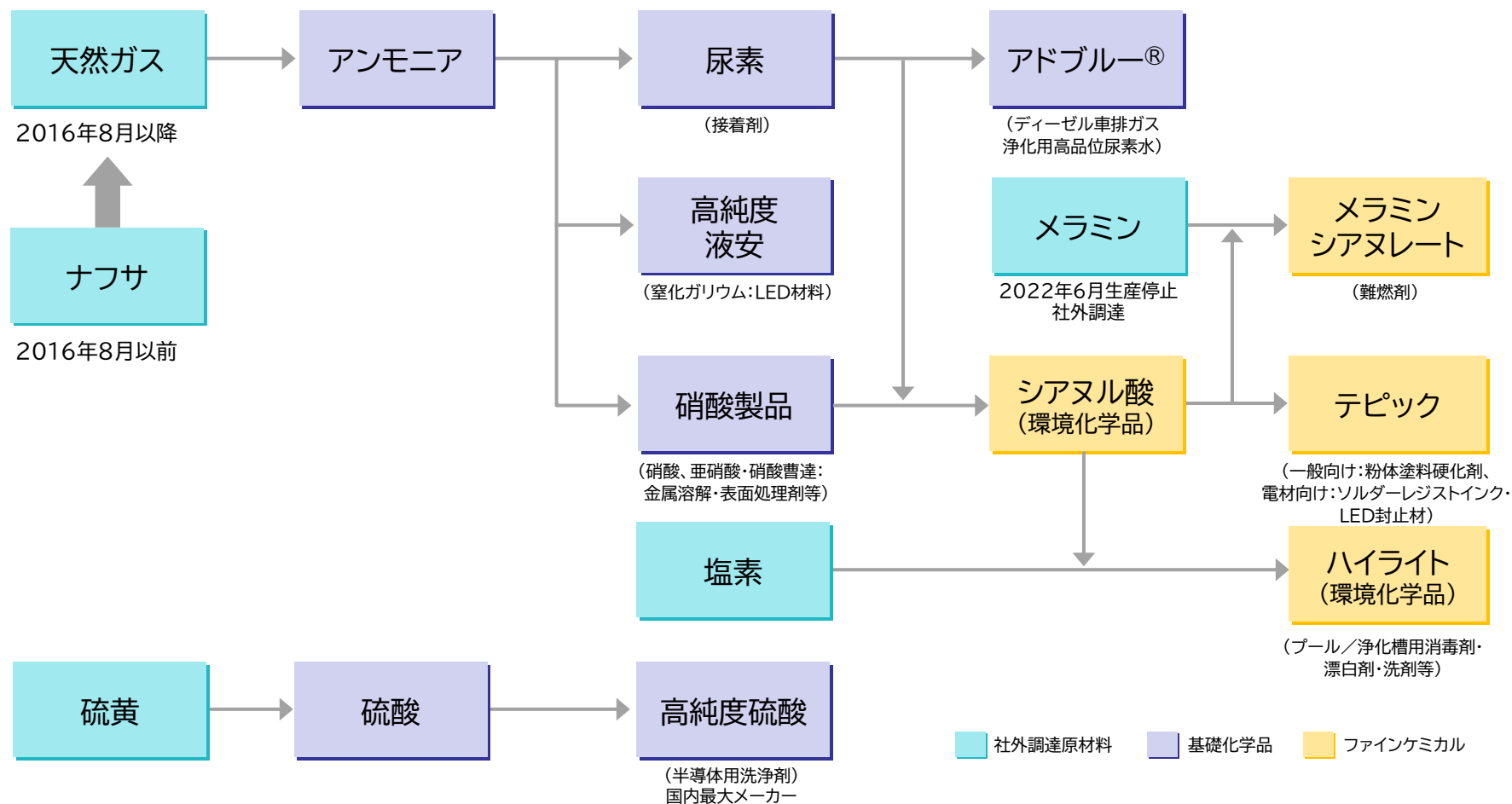
	2025年度 1Q予想	2025年度 1Q実績	業績予想比
売上高	94	93	-1
ファインケミカル	31	34	+3
基礎化学品	63	59	-4
営業利益	8	7	-1

【1Q】売上高・営業利益下ぶれ

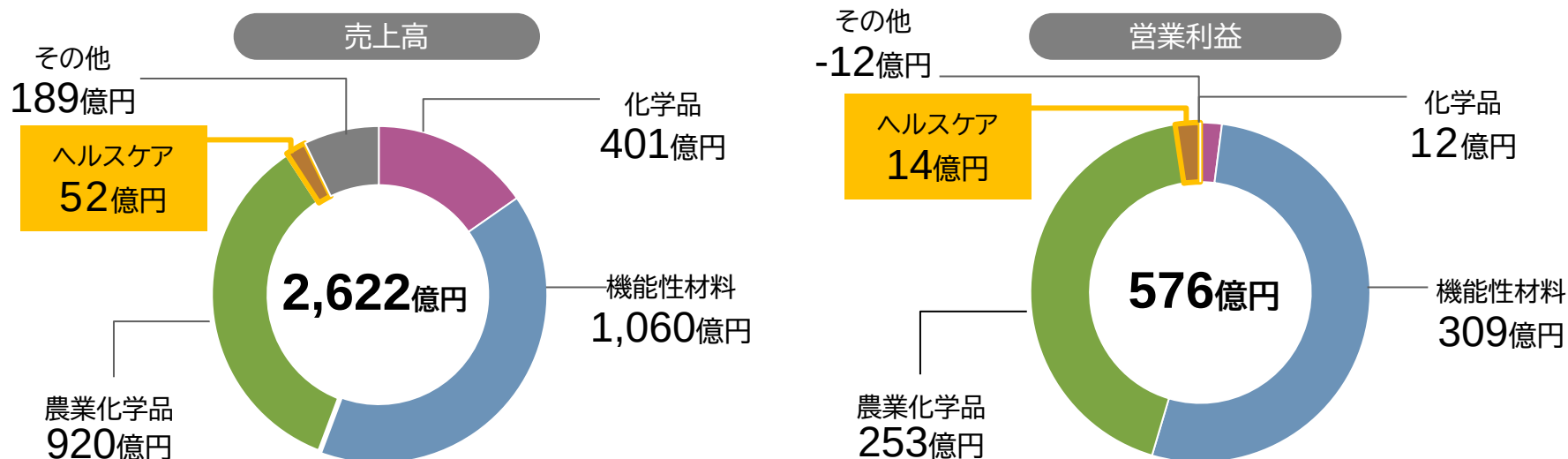
ファインケミカルは、ファインオキシコールと環境化学品で売上高上ぶれ

基礎化学品は、硝酸製品(プラントトラブルで4月に製造一時停止)で売上高下ぶれ

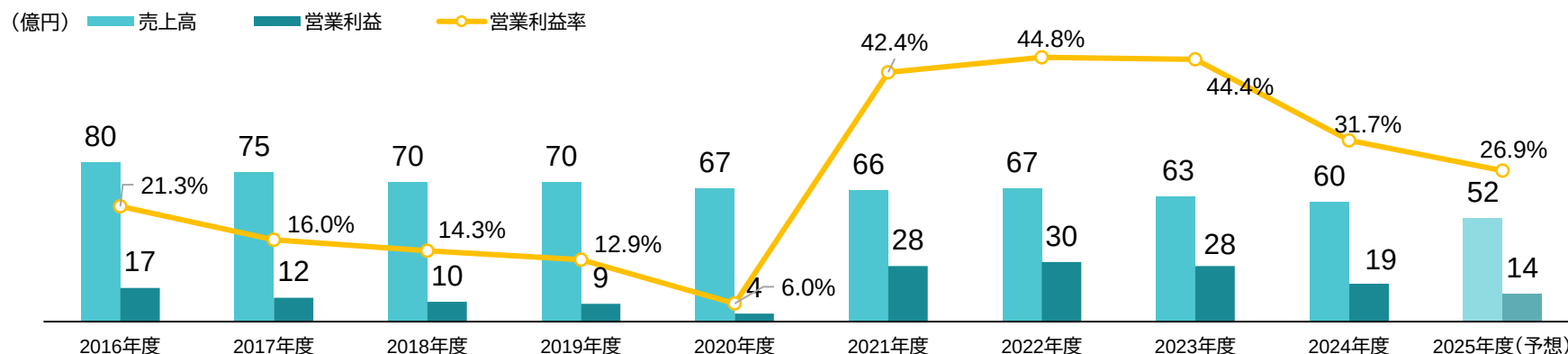
- 主要製品は、アンモニア系と硫酸系
- 2024年度アンモニア国内生産能力シェアはわずか11%
- 規模を追わず、高純度硫酸やテピックなどの高付加価値製品へ注力



2025年度セグメント別業績予想※1



ヘルスケアセグメント業績推移※1・2



※1 2025年度より新方式セグメント別営業利益。2024年度実績はセグメント区分変更後の数値に置き換え済み(p39参照)

※2 2022年4月に組織改定(ヘルスケアおよび企画本部)を実施。2020年度以前は組織改定前、2021年度以降は改定後ベース

前年同期比

(億円)

	2024年度 1Q実績	2025年度 1Q実績	前年同期比
売上高	15	16	+1
ヘルスケア	3	5	+2
ファインテック	12	11	-1
営業利益	6	5	-1
ヘルスケア	0	1	+1
ファインテック	6	4	-2

※ 億円未満を四捨五入して表示しており、
これにより合算値が合わない場合がある

※ 2024年度1Q実績はセグメント区分変更後の数値に
置き換え済み(p39参照)

【1Q】増収・減益

ヘルスケア増収(リバロ輸出増収)、ファインテック減収(顧客在庫調整の影響あり)

業績予想比

(億円)

	2025年度 1Q予想	2025年度 1Q実績	業績予想比
売上高	15	16	+1
ヘルスケア	5	5	0
ファインテック	11	11	0
営業利益	4	5	+1
ヘルスケア	1	1	0
ファインテック	3	4	+1

※ 億円未満を四捨五入して表示しており、
これにより合算値が合わない場合がある

【1Q】売上高・営業利益上ぶれ

ヘルスケア、ファインテック売上高予想通り

Contents

01

2025年度第1四半期 連結決算報告 P3

02

セグメント概況 P11

03

ESGトピックス P31

04

参考資料 P36

E (環境) S (社会)	2021年4月	ダイバーシティステートメントおよびダイバーシティビジョンを設定
	2022年5月	2050年にカーボンニュートラルへ 温室効果ガス(GHG)排出削減長期目標を設定(詳細はp35参照)
	2022年6月	メラミン停止によるGHG削減(26千トン、2018年度実績の約7%に相当)
	2022年6月	気候変動対策委員会設置
	2024年9月	「 統合レポート2024 」を発行
G (ガバナンス)	2019年4月	指名・報酬諮問委員会設置(取締役会の任意の諮問機関)
	2019年6月	取締役等を対象に業績連動型株式報酬制度導入(株式給付信託)
	2022年6月	役員報酬体系にESG指標を組入れ(基本報酬65%、業績報酬28%、株式報酬7% 業績報酬28%のうち、利益連動部分90%、ESG連動部分10%)
	2025年6月	「 コーポレートガバナンス報告書 」を更新
	2025年6月	女性取締役(社外)2名選任(再任)(取締役は計10名、うち社外4名) 女性監査役(社外)1名選任(新任)(監査役は計4名、うち社外3名)

Dow Jones Sustainability Asia Pacific Index

- 2024年12月
7年連続で構成銘柄に選定

Member of
**Dow Jones
Sustainability Indices**
Powered by the S&P Global CSA

FTSE

- 2025年6月 FTSE4Good Index Series、FTSE Blossom Japan Indexの構成銘柄に6年連続選定
- 2025年6月 FTSE Blossom Japan Sector Relative Indexの構成銘柄に4年連続選定

※ FTSE Russell (FTSE International Limited と Frank Russell Companyの登録商標)はここに日産化学株式会社が第三者調査の結果、FTSE Blossom Japan Sector Relative Index組み入れの要件を満たし、本インデックスの構成銘柄となったことを証します。FTSE Blossom Japan Sector Relative Indexはサステナブル投資のファンドや他の金融商品の作成・評価に広く利用されます。



FTSE4Good



FTSE Blossom
Japan



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index

健康経営優良法人 -ホワイト500-

- 2025年3月 9年連続認定



外部イニシアティブへの参画



TASK FORCE ON
CLIMATE-RELATED
FINANCIAL
DISCLOSURES



Taskforce on Nature-related
Financial Disclosures



S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数

- 2024年9月
6年連続で構成銘柄に選定



MSCI

- 2023年6月 MSCI ESG格付け BBBからAへ格上げ
- 2025年6月 MSCI日本株ESGセレクト・リーダーズ指数
構成銘柄に2年連続選定

※ MSCI指数への日産化学株式会社の組み入れ、および本ページにおけるMSCIロゴ、商標、サービスマーク、または指数名称の使用は、MSCIまたはその関係会社による日産化学株式会社の後援、保証、または販売促進ではありません。MSCI指数は、MSCIの独占的財産です。MSCIおよびMSCI指数の名称とロゴは、MSCIまたはその関係会社の商標またはサービスマークです。

**2025 CONSTITUENT MSCI日本株
ESGセレクト・リーダーズ指数**

Morningstar

- 2024年12月 Japan ex-REIT Gender Diversity Tilt Index 2年連続で構成銘柄に選定

「子育てサポート企業」くるみん

- 2023年1月 2回連続認定



2027年の企業像実現のため、当社が取り組むべきマテリアリティ（重要課題）を特定
取り組みを推進することで社会とともに持続的な成長を目指す

▶▶▶1

人びとの暮らしに役立つ
新たな価値の提供

▶ 日産化学サステナブル
アジェンダ※1

社会課題解決に貢献する製品・
サービスの全売上に占める割合
60%以上

（55%以上維持より上方修正）

※1 社会課題解決に貢献する製品・サービスの提供により、
「地球と人の未来のためにできること」を追求する計画

▶▶▶2

自社事業基盤の強化

▶ 人材の確保・育成
人材育成に関する社員意識調査
肯定回答率
65%以上

▶ ダイバーシティ推進
研究所女性総合職比率 **18%以上**

▶▶▶3

レスポンシブル・ケア活動の
継続的強化

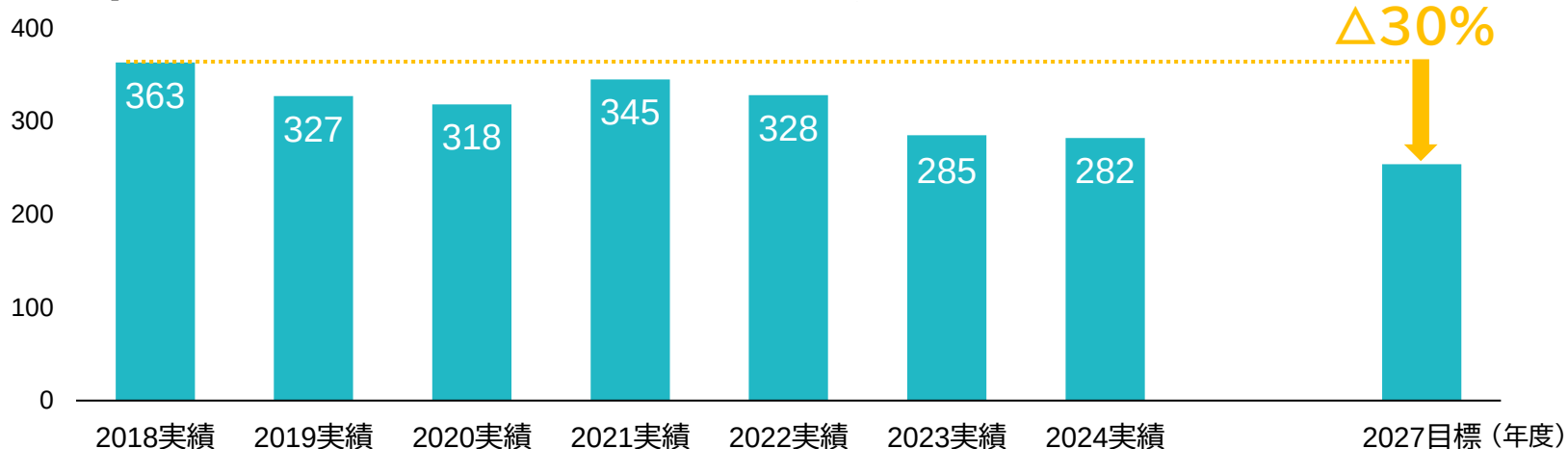
▶ GHG排出削減目標
2018年度比 **30%以上削減**

当社グループの最重要課題

コーポレート・ガバナンス、リスクマネジメント、コンプライアンスの強化

- 2050年のカーボンニュートラル実現に向け、従来の取り組みに加え、生産技術の改善や再生エネルギー導入などに注力する
- GHG排出量2027年度目標:2018年度比30%削減(SCOPE1+2)

(千トン-CO₂e)



■ 他社とのGHG排出量の比較

(千トン-CO₂e)

年度	2011	2018	2019	2020	2021	2022	2023
日産化学(単体ベース)	448	363	327	318	345	328	285
大手総合化学4社平均 (連結ベース)	-	-	9,275	8,928	9,226	8,390	7,863

中期経営計画 Vista2027 (2022-2027年度)における取り組み

- 硝酸プラントからのN₂O排出ゼロ
(予定投資額 830百万円 変動費 70百万円/年)
- メラミン製造中止
- 小野田工場燃料転換
- ICP本格導入によるGHG排出削減推進
- フロン機器の削減
- 省エネ機器への更新

Contents

01

2025年度第1四半期 連結決算報告 P3

02

セグメント概況 P11

03

ESGトピックス P31

04

参考資料 P36

セグメント別売上高 四半期推移(2022年度～2025年度1Q)

(億円)

	2022年度 実績					2023年度 実績					2024年度 実績					2025年度 実績	2025年度 予想			
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	1Q	2Q	下期	年間
化学品	104	94	101	91	390	91	88	96	81	356	89	90	102	97	378	93	94	97	210	401
ファインケミカル	42	35	33	28	138	30	30	30	26	116	31	32	34	32	129	34	31	33	66	130
基礎化学品	62	59	68	63	252	61	58	66	55	240	58	58	68	65	249	59	63	64	144	271
機能性材料	218	202	206	200	826	208	197	214	227	846	235	251	256	259	1,001	259	257	263	540	1,060
農業化学品	197	160	131	328	816	188	165	132	336	821	204	188	146	324	862	266	232	155	533	920
ヘルスケア	17	15	16	19	67	20	15	13	15	63	15	18	11	16	60	16	15	11	26	52
ヘルスケア	8	6	4	6	24	6	7	6	4	23	3	5	5	5	18	5	5	4	9	18
ファインテック	8	10	12	13	43	13	9	7	10	40	12	13	6	11	42	11	11	6	17	34
卸売	237	240	270	244	991	243	245	283	267	1,038	275	288	308	301	1,172	300	283	283	644	1,210
その他	65	59	67	73	264	64	59	60	118	301	63	57	88	84	292	79	77	69	169	315
調整額	-255	-258	-294	-266	-1,073	-265	-261	-302	-330	-1,158	-294	-297	-345	-315	-1,251	-314	-308	-309	-719	-1,336
合計	583	512	497	689	2,281	549	508	496	714	2,267	587	595	566	766	2,514	699	650	569	1,403	2,622

※ セグメント間の内部売上高又は振替高を含む

※ ヘルスケアセグメントでは、億円未満を四捨五入して表示しており、これにより合計値が合わない場合がある

※ 卸売：日星産業、その他：日産物流、日産緑化、日産エンジニアリング、NC東京ベイ、日本ポリテック(2024年度より連結子会社化)、日本肥糧、調整額：企画本部ほか

セグメント別営業利益 四半期推移(2022年度～2025年度1Q)

(億円)

	2022年度 実績					2023年度 実績					2024年度 実績					2025年度 実績	2025年度 予想			
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	1Q	2Q	下期	年間
化学品	17	-6	4	-1	14	9	-10	4	-3	0	7	-10	5	2	4	7	8	-6	10	12
機能性材料	79	60	69	46	254	65	46	63	51	225	71	74	80	68	293	82	83	80	146	309
農業化学品	68	53	31	79	231	66	50	29	89	234	70	74	38	77	259	86	76	41	136	253
ヘルスケア	8	7	6	9	30	11	7	5	5	28	6	7	4	2	19	5	4	1	9	14
ヘルスケア	4	2	1	2	9	3	3	2	2	9	0	2	1	1	4	1	1	0	2	3
ファインテック	4	5	6	7	21	8	4	3	4	19	6	5	3	2	16	4	3	0	8	11
卸売	10	9	10	8	37	9	9	10	9	37	10	10	11	10	41	11	8	8	18	34
その他	1	0	2	6	9	2	0	-3	7	6	1	-1	1	5	6	5	3	2	7	12
調整額	-10	-14	-16	-12	-52	-12	-11	-15	-10	-48	-21	-15	-11	-7	-54	-15	-11	-14	-33	-58
合計	173	109	106	135	523	150	91	93	148	482	144	139	128	157	568	181	171	112	293	576

※ ヘルスケアセグメントでは、億円未満を四捨五入して表示しており、これにより合計値が合わない場合がある

※ 卸売：日星産業、その他：日産物流、日産緑化、日産エンジニアリング、NC東京ベイ、日本ポリテック(2024年度より連結子会社化)、日本肥糧、調整額：企画本部ほか

※ 2025年度より新方式セグメント別営業利益、2024年度実績はセグメント区分変更後の数値に置き換え済み(p39参照)

セグメント区分変更影響 2024年度セグメント別営業利益

- 2025年度より、新方式でセグメント別営業利益を算出
- DX費用および企画本部の一部費用について、
旧方式では各セグメントに配賦していたが、新方式では各セグメントに配賦せず調整額で一括処理
- 2024年度実績はセグメント区分変更後の数値に置き換え済みであり、影響額は以下のとおり

(億円)

	2024年度 実績 (セグメント区分変更前ベース)					2024年度 実績 (セグメント区分変更後ベース)					セグメント区分変更 前後差				
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q	4Q	年間
化学品	7	-11	5	1	2	7	-10	5	2	4	0	+1	0	+1	+2
機能性材料	70	74	79	67	290	71	74	80	68	293	+1	0	+1	+1	+3
農業化学品	69	73	37	77	256	70	74	38	77	259	+1	+1	+1	0	+3
ヘルスケア	6	7	3	3	19	6	7	4	2	19	0	0	+1	-1	0
ヘルスケア	0	1	1	2	4	0	2	1	1	4	0	+1	0	-1	0
ファインテック	6	5	2	2	15	6	5	3	2	16	0	0	+1	0	+1
卸売	10	10	11	10	41	10	10	11	10	41	0	0	0	0	0
その他	1	-1	1	5	6	1	-1	1	5	6	0	0	0	0	0
調整額	-19	-13	-8	-6	-46	-21	-15	-11	-7	-54	-2	-2	-3	-1	-8
合計	144	139	128	157	568	144	139	128	157	568	0	0	0	0	0

※ ヘルスケアセグメントでは、億円未満を四捨五入して表示しており、これにより合計値が合わない場合がある

※ 卸売：日星産業、その他：日産物流、日産緑化、日産エンジニアリング、NC東京ベイ、日本ポリテック(2024年度より連結子会社化)、日本肥糧、調整額：企画本部ほか

セグメント		製品名	主用途
化学品	ファインケミカル	テピック	エポキシ樹脂: ソルダレジストインク材料、LED封止材等、粉体塗料硬化剤
		メラミンシアヌレート	難燃剤
		環境化学品	プール、浄化槽用殺菌消毒剤
		ファインオキシコール	化粧品原料、潤滑油原料、電子材料用接着剤原料
	基礎化学品	メラミン(22年12月販売終了)	接着剤
		アドブルー®	ディーゼル車排ガス浄化用高品位尿素水
		高純度硫酸	半導体用洗浄剤
機能性材料	ディスプレイ	アンモニア、硫酸、硝酸、尿素	
		サンエバー	液晶配向材用ポリイミド
		(主要モード) VA	Vertical Alignment: テレビ
	半導体	IPS	In-Plane Switching: スマートフォン、タブレット、PC、モニター、車載
		ARC®(KrF、ArF)	半導体用反射防止コーティング材
		多層材料(OptiStack®)	半導体用多層プロセス材料(Si-HM、SOC)
		EUV材料	EUVプロセス材料(下層膜、Si-HM)
		三次元実装材料	半導体用仮貼り合せ材
	無機コロイド	スノーテックス	コロイダルシリカ: 研磨剤(シリコンウェハー、化合物半導体、半導体CMP等)、特殊鋼板
		オルガノゾル・モノマーゾル	有機溶媒・モノマー分散シリカゾル: フィルム表面処理、電子機器、樹脂添加剤
農業化学品	除草剤	オイル&ガス材料	シェールオイル・ガス採掘効率向上材
		タルガ	大豆、なたね、てんさい
		パーミット	とうもろこし、さとうきび、稲
		ラウンドアップ	非選択性茎葉処理除草剤: 非農耕地、果樹園
		アルテア	稲
		ベルダー	稲
	殺虫剤	グレーシア	野菜、茶、果樹
	殺菌剤	ライメイ	ばれいしょ、野菜、ブドウ
		ダイセン(マンゼブ)	果樹、野菜
	動物医薬品	フルララネル	ペット用外部・内外部寄生虫薬BRAVECTO®、鶏・牛・羊用EXZOLT®原薬
ヘルスケア		リバロ原薬	高コレステロール血症治療薬
		ファインテック	課題解決型受託事業および共同開発型事業

※ アドブルー®はドイツ自動車工業会(VDA)の登録商標 ※ ARC®およびOptiStack®はBrewer Science, Inc. の登録商標
 ※ BRAVECTO®およびEXZOLT®はMAH の登録商標

本資料に記載されている将来の当社事業に関する見通しは、資料作成時点で入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、将来の当社業績を保証するものではありません。様々な不確実要素により、実際の業績は予測と大きく異なる結果になる可能性があります。

また、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断で行われるようお願いいたします。

本決算説明資料に掲載されている全てのコンテンツは、日産化学株式会社が所有しています。
